



名古屋市交通局
Transportation Bureau City of Nagoya

LINE二次元コード・缶バッジ（イメージ）データあり

令和6年9月17日

市政記者クラブ 様

交通局 営業統括部乗客誘致推進課

（松村 972-3816）

（名古屋ダイヤモンドドルフィンズ(株)が同時発表）



名古屋市交通局 × 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

- 今年もBリーグプロバスケットボールチームの名古屋ダイヤモンドドルフィンズとタイアップし、2024-25シーズンのホームゲーム30試合（※）において、「市バス・地下鉄来場キャンペーン」を開催！（※）令和6年10月12日（土）～令和7年4月27日（日）に開催
- 本キャンペーンは、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ公式LINEから取得したLINEスタンプカードを使用するもので、市バス・地下鉄を使ってドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）に来場された方を対象に、1試合（1スタンプ）ごとに限定コラボ缶バッジをプレゼントするほか抽選でサイン色紙が当たります！さらにスタンプを集めると選手との集合写真に参加できるなどの豪華特典も。
- また、本キャンペーンを盛り上げるため、地下鉄名城線における広告貸切列車（1編成）の運行（10月）や地下鉄名古屋城駅改札口で選手本人の音声による試合告知のアナウンス（ホームゲーム開催日）を実施します。



1 本キャンペーンについて

名古屋ダイヤモンドドルフィンズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会貢献プロジェクト“Dolphins Smile”（ドルフィンズスマイル）。

本キャンペーンは、同プロジェクトのコンセプトである「オフコートの3P（※）」のうち、“Planet（地球を守る）”にかかる脱炭素の取組みに、交通局が賛同し、タイアップするとともに、市バス・地下鉄の利用を促進することを目的に開催するものです。

（※）“Planet”（地球を守る）、“People”（支援が必要な人に手を差し伸べる）、“Peace”（平和・安心安全）

2 名 称

名古屋市交通局×名古屋ダイヤモンドドルフィンズ 市バス・地下鉄来場キャンペーン

3 期間・開催日

- ・期 間：令和6年10月12日（土）～令和7年4月27日（日）
- ・開催日：Bリーグ公式戦のうち名古屋ダイヤモンドドルフィンズホームゲーム開催日

4 参加方法

- ・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ公式LINEから、LINEスタンプカードを獲得
↓
- ・試合日に、市バス・地下鉄を利用して来場したことがわかる様子を、ハッシュタグ「#ドルフィンズスマイル」及び「#名古屋市交通局」をつけてSNSに投稿
↓
- ・SNSに公開した画面を、ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）1階のコンシェルジュカウンターで係員に提示（※観戦チケットでの入場が必要）
↓
- ・当日限定二次元コードを読み込んで、LINEスタンプを獲得



公式LINE二次元コード

* ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）へのアクセス

市バス：基幹2ほか「市役所」停より徒歩7分

地下鉄：地下鉄名城線「名古屋城」駅7番出入口より徒歩5分

5 特 典

- ・1スタンプごとに限定コラボ缶バッジを1つプレゼント（全13種ランダム。各試合数量限定）、さらに抽選で各試合3名に選手のサイン色紙をプレゼント
- ・20スタンプで選手との集合写真撮影に参加（令和7年4月27日（日）試合終了後）
- ・25スタンプでドルフィンズスマイル（SDGs）認定缶バッジをプレゼント



限定コラボ缶バッジー例（イメージ）※直径約5.5cm

6 本キャンペーン関連事業

(1) 広告貸切列車の運行

ア 期 間：令和6年10月

イ 内 容：地下鉄名城線（1編成）の車内を、本キャンペーンのポスター等でジャックした広告貸切列車を運行。



(2) 名古屋城駅における選手本人の音声によるアナウンスの実施

ア 期 間：キャンペーン開催日の試合開始2時間前から1時間後まで

イ 内 容：ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）最寄り駅の地下鉄名古屋城駅改札口において、選手本人の音声による試合告知のアナウンスを実施（※音声は録音したもの）

（参考）ドルフィンズスマイルについて（名古屋ダイヤモンドドルフィンズ公式ウェブサイトより）

“Dolphins Smile”は、名古屋ダイヤモンドドルフィンズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会貢献プロジェクトで、「オフコートの3P」をコンセプトに、ドルフィンズコミュニティが笑顔になれるよう、社会貢献活動をリードします。

「オフコートの3P」は、“Planet”（地球を守る）、“People”（支援が必要な人に手を差し伸べる）、“Peace”（平和・安心安全）の3つのPを基軸に、コミュニティの抱える課題やニーズに応える形で実施し、プロスポーツクラブとして、世界が一丸となって社会問題に挑むSDGs（持続可能な開発目標）に貢献します。